

## 編 集 後 記

私が別府大学に来てから早11年になる。10年ひと昔——10年は一応昔と  
感じられる期間を言うのであるが、私には10年前は、昔どころか、むしろ  
つい昨日のこのように思われる。その間何冊本を読み、どれくらい熱心  
に研究し思索したかは、数量に表わしようもないが、研究の遅々とした速  
度、自分の知識の不足、学問研究への懐疑、虚無感、焦燥、自慰等、言わ  
ば不如意の連続だったように思う。これからも同じかも知れない。しかし  
「我々は道徳的であることをやめた時、力を失ってしまう」（ゲーテ）  
のだ。肯定に至る真実への道は必ずあると思う。よりよい方法論と努力を  
得て、遅々としてても、肯定への道をめざそうではないか。

ああ、少年老い易く学成り難し！

(G)

## 執 筆 者 (執筆順)

Chales J. Lutz	本学文学部講師
沖 浩 子	本学短期大学部助教授
後 藤 一 美	本学文学部講師
松 田 修 明	本学文学部講師
上 田 見 二	本学文学部講師

## 別府大学英語英米文学論叢 第十号

1977年12月20日 印刷発行

編集兼発行者 別府大学英語英文学会

(874-01) 別府市北石垣 別府大学

印刷所 つちや軽印刷

別府市亀川東町4-20

電話 66-3676